



ジックが生み出されているということになります。すなわち会員を増やし、資金を集め、思いやりの心を形していくことこそ、ロータリーのマジックを現実のものとしていくことだと述べておられます。

また、こうもおっしゃっています。それは心から帰属意識を持てずにいる会員がいるとすれば、Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包括性)を受け入れることにより、その寛容さを持って会員の居場所が保たれ、共通の目的のために結束しやすくなり、それが会員増強にもつながっていくのではないか、ということです。

また、本年度の第2650地区ガバナー中本勝氏は、「持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動」をテーマとされています。ロータリーの原点・基本に立ち返り、奉仕と親睦を活動の両輪として有意義な輝きのある活動を展開しましょうと語られていました。

ロータリー活動は楽しくなければなりません。楽しくないと続きません。楽しくないと人にも勧められません。まさしくそのとおりであります。私たちは何のためにロータリーに入会しているのか、原点に戻ってじっくり考えてみましょう。そういうところから、私はこの1年を始めてみようと思いました。

26年ほど前になりますが、入会当初、奉仕という言葉には、漠然とした思いがございました。あまりに広すぎて理解するには深すぎるものだと感じていました。その後、ロータリー活動において奉仕の実践と学びを重ねる中で、奉仕とは奉仕する者も幸せであると感じられてこそ有意義なものとなるという思いに至りました。

私が思う、幸せの三要素についてお話をいたしました。

1つ、自分自身が好きであること。人は誰でも長所や短所があるものです。しかし、それらを包括してなお、自分自身を好きでいることが重要だと思います。

2つ、良い人間関係を持っていること、知人や先輩後輩、親友と呼べる仲間、そして家族の関係においても、良い人間関係を持っていることはとても重要な要素だと思います。袖振り合うも他生の縁と申しますが、私たちの関係はロータリーという大きな輪の中で知り合った縁でございます。ロータリーに入会される以前からお知り合いや友人であった方もそこそこおられるかもしれません、私の場合は、ほとんどの方と面識がなかったので、このロータリーで関係をいただいたことに心から感謝をしているところでございます。これは一つの財産、ネットワークをいただいたことと同じではないでしょうか。

そして、3つ目、人や社会に貢献していくことであります。ビジネスにおける職業人としてだけではなく、地域やその社会に関係する人たちのニーズや困りごとに耳を傾け、知恵と多少の時間とお金を使い、手助けし続ける力量を備えている人のことだと思います。

もっと率直に言い換えることができるならば、奉仕

とは利他主義に集約されるのではないかと理解しました。この利他主義は、利己主義の対局にあるものです。人は物事を判断するとき、大抵一人称で判断しがちです。自分自身にとって正しいか正しくないか、得か損か、善か悪かなどその場の状況に応じ、自身の知識や経験に照らして判断しています。そのことは何ら問題ないものとは思いますが、その最終判断の中に、「ちょっと待てよ、相手にとってこの判断はどうなんだろう」と考えることができれば、この思いやりの心こそが他者を優先する利他主義に導いてくれる、第一歩になるのではないかでしょうか。「service above self(超我の奉仕)」、そして「One Profits Most Who Serves Best(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」につながるものがあります。

私たちは、相手のニーズに寄り添いながら、互いに「face to face」から「smile to smile」に、そして「heart to heart」へ、つまり人との出会いがますますあり、奉仕を通じて共に達成感を共有し、それが互いの信頼関係につながっていくこと、そのことをモットーにエンジョイ・ロータリーを実践していくかなければなりません。

社会が変化するのならば、私たちも変化しなければなりません。時は人を待たずと申します。私が本年度、「Next Stage、共に一步前へ」のタイトルを掲げたのはロータリアン、老・壯・青の皆さんのが共に社会の変化に対応されることこそ成長であると捉え、地域社会のニーズに合った奉仕を拾い上げていくという趣旨であります。

たとえ週に一度の短い時間の例会でも、一期一会を大切にしましょう。そこにはほつとする心の通う友がいる、そんな場所であってほしいと願います。

以上、親睦と奉仕をベースとして、大和高田RCがより結束し、より地域に受け入れられる、信頼されるクラブとして発展していくことを希望するものであります。

次に掲げる4つの項目は、クラブ概況報告書にも掲載されておりますが、皆様には十分ご理解いただけるものと考えておりますので、以下簡単に読み上げさせていただきます。

①ロータリーの原点・基本に立ち返り、職業倫理を高め、「4つのテスト」を実践しましょう。

②節度ある、品格にふさわしい会員増強を目指すとともに、魅力ある大和高田RCへと成長し、退会防止に努めましょう。

③クラブの歴史を再認識し、先人たちの思いを若い世代に継承し、郷土愛を育みましょう。

④本年度、第2650地区ガバナーとして奈良RCより中本勝氏が選任されております。同じ奈良県下のロータリークラブとして、地区大会はできるだけ全員登録で、またできるだけ全員参加することを希望いたします。

以上、簡単ではございますけれども、本年度に向けての私の趣旨説明とさせていただきます。本日はありがとうございました。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員 出席数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員 出席数	免除 会員 出席数	免除 会員 会員 MU	出席率
7月2日	90	61	59(0)	2	0	29	23	0	97.62%
6月25日	91	61	56(0)	5	1	30	22	0	95.18%
6月18日	91	61	53(0)	8	5	30	18	0	96.20%

()内の数字はWEB出席者数内訳

2024-25年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together

会長	池木 啓仁
副会長	中井 謙之
幹事	丸野 正徳
会報・資料委員長	杉村 喜之

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp
地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>
例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第2回(通算3001回)2024年(令和6年)7月9日号

本日の例会(7月9日)

委員長活動方針報告(1)

次回の例会(7月23日)

委員長活動方針報告(2)

幹事引継ぎ・バッジ交換



林 輝一前幹事から丸野正徳幹事へ

乾杯



3000回を振り返って 村島靖一郎会員
60年前を振り返って、ご報告方々、皆さんにお話ししたいと思います。まず、大和高田RCの創立は1961年3月28日、第1回例会は4月3日でした。私の入会は2年後の1963年(昭和38年)1月29日第93回例会からです。その当時、一番やかましく言われたのは、義務と責任についてです。義務というのは、例会への出席のことです。創立して10年ほどはなかなか年間100%というのは難しかったのですけれども、それでも99%以上というすごい成績で推移していました。そして、1970年11月の第11年度から2000-01年の第41年度まで30年間にわたり100%をキープしました。1年間100%を30年間続けたという驚異的な数字で、みんなよく頑張ったものだなと思っております。

先週は、第2回目のワンダーメイツの話をいたしました。第1回目は伊勢参りに行きました。ちょうど式年遷宮の年に当たりまして、生徒45名と3泊4日で伊勢まで120kmを歩いてお参りしました。お白石持

脇本吉清前会長から池木啓仁会長へ

副会長引継ぎ・バッジ交換



池田定嗣前副会長から中井謙之副会長へ

4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

といって、白い石を一ついただいて、それを持ってお伊勢さんのお社の中へ入りました。新しいお宮ですので、神様がまだ入っておられないということで、一番奥まで入っていくことができました。参加した生徒たちにとっては一生のいい思い出になったと思います。

それから、創立20周年記念事業として大和高田RCがスポンサークラブとなり、王寺RC、現在のやまと西和RCの設立総会が行われたのは、1980年(昭和55年)9月8日のことでした。そして、1981年3月8日に認証状の伝達式があつたのが第1005回目の例会でした。ちなみに、第1000回の例会は1981年2月3日のことでした。

それから、当クラブが地区大会をホストしたのは、第1211回例会のとき、昭和60年のことでした。羽根實ガバナーの下、奈良県立橿原体育館で行いました。

ローターアクトの設立については、平成8年の第36年度、3月3日の第1745回例会にて、認証状の伝達式を行いました。そのときのチャーターメンバーは24名でございました。

そして、足高晋会員には、大和高田RCのメンバーとして初めて地区のガバナーになつていただきました。平成8年7月、第1757回例会のときでした。ところが、明くる年、平成9年1月16日、任期中に足高晋ガバナーは亡くなられました。

第2000回の例会は、第42年度の平成13年7月3日、池内博彦会長の下で行いました。

最後に、リズモー西RCとの関係は、今後とも国際奉仕委員会を中心にぜひとも交流を図つてほしいなと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会長の時間

本日より新年度が始まります。大和高田RCの第65代会長を拝命させていただきまして、いよいよ始まるなという思いでございます。そして、先ほど村島会員から、第3000回例会に寄せる思いと、乾杯の音頭をいただきました。次の第4000回例会に向けて第一歩を踏み出せたような思いでございます。後ほど所信表明にて、本年度への思いをお伝えしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

幹事報告

◎本日は通算3000回記念例会となっております。本年度よりロータリーのロゴが変更になっておりますので、通算3000回例会の記念品として、出席委員の方々より、クラブ章、バッジをお配りさせていただいております。まだお受取りでない方は、出席委員の方までお申し出ください。

◎本年度よりロータリーロゴが変更になっております。前方の当クラブ幕と本年度のRIテーマ幕も変更となつております。本年度のテーマは「The Magic of Rotary」でございます。

◎本日もお誕生日の方にお祝いの品を贈呈させていただきました。例年はバカラグラスでございますが、非常に価格が高騰しておりますので、本年度は当クラブのロゴ入りボールペンとさせていただいております。

◎第1回定例理事会のご報告

1. 2023-24年度決算報告承認の件 承認
2. 2024-25年度収支予算(案)承認の件 承認
3. 2024-25年度前期会費(案)徴収の件 承認

4. 職業分類の件 承認
伊森隆敏会員 生命保険
5. 長寿お祝いの件 承認
米寿(数え88歳) 吉村忠雄会員
喜寿(数え77歳) 辻 僚会員 鈴木勝士会員
黒松 健会員

6. 委員会構成変更の件 承認
伊森隆敏会員 出席委員会 親睦委員会
◎ガバナービジネス事務所、ガバナーエレクト事務所夏季休暇の件 8月9日～8月15日
◎大和高田RC事務局休暇の件 8月9日～8月15日

ゲスト

俵本和美様(南都銀行高田支店支店長)

誕生日祝
辻 僚会員(7月 3日)丸野正徳会員(7月 3日)
酒本将穂会員(7月 8日)

創業記念日祝

木原常裕会員(7月 1日)中堀克己会員(7月 1日)
安田志郎会員(7月 1日)吉井英一郎会員(7月 1日)
涌田義昭会員(7月 1日)伊森隆敏会員(7月 4日)
中川和久会員(7月 7日)

喜寿祝

辻 僚会員

地区委員会嘱託状

地区会員増強・拡大委員会委員 鈴木勝士会員
地区職業奉仕委員会副委員長 村島靖基会員
地区財團資金推進委員会委員 藤井宏典会員

委員会報告及びその他報告

○会計報告 杉垣輝樹前年度会計
2023-24年度の収支決算会計報告をいたしました。お手元の決算書をご覧ください。まず、収入の部、予算に関しまして4331万6350円、それに対して今期の決算金額は4356万3063円でした。少し予算より増えている分は、新入会員の会費収入関係などによります。支出に関しましては、予算が4331万6350円、決算金額が3761万2090円でした。繰越金額を入れますと、支出合計が4356万3063円となりました。

皆様方におかれましては、支出で緊縮財政を心がけていただきました。よって、単純な収支差額は36万6377円の減となり、次年度の繰越金額は595万973円となります。過年度、コロナ明けの影響も多少あったかと思いますが、多くの部門で予算額に比し、ある程度緊縮された結果でもあります。よって、予備費は使わず、ほぼ例年並の繰越金額となりました。

続いて、財産目録です。次期繰越金595万973円の内訳は、財産目録の預金の部、普通預金南都銀行高田本町支店の540万2733円と、前年度前払い金54万8240円の合計となっております。ほかに南都銀行高田本町支店に記念事業積立金が942万4515円、友愛基金が849万9308円ございます。前年度の予算執行は全体として順調になされました。

○会計監査 木原常裕前年度会計監査
今朝の10時過ぎから4階事務局におきまして、櫻根会員と監査させていただきました。その結果、適正であると確認いたしました。

○会計について 上田麻子会計

今年度の前期会費につきまして、後日納付書を送付させていただきますので、よろしくお願ひいたします。今年度はRIの分担金が円安によって増額されています。財団寄付金の増額もありました。食費の値上げもありましたので、非常に心苦しいのですが、昨年度よりも前期会費が2万2000円増額の21万8000円となります。クラブ細則6条第2節の対象の会員様、村島靖一郎会員、中井隆男会員、林村喜芳会員、川中光教会員、林田光治会員におかれましても、前期の会費は2万2000円の増額の15万8000円となつております。期日までにご納付いただきますようによろしくお願ひいたします。

○ローターアクト委員会 川中教正委員長

7月10日(水)午後7時より、経済会館7階におきまして、第1回ローターアクトクラブ所信表明例会を開催させていただきます。登録料は3000円です。ただいま出欠表をお配りしておりますので、ご参加の程よろしくお願ひいたします。

また、ロータリーとローターアクトをつなげる通信というのをポスティングしております。本年度は第2650地区のローターアクト地区代表を輩出しているということもありまして、これを機にローターアクトの活動についてもご理解を広めていただきたいと思っておりますので、ぜひご一読ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

○雑誌・IT委員会 中井俊之委員長

『ロータリーの友』のご紹介をいたします。RI会長、ステファニー・A・アーチック氏の記事がございます。また、21ページには各地のガバナーの方がご紹介されています。

ニコニコ箱

・本日、すがすがしい気持ちで例会に出席させていただきました。会員の皆様のご支援、ご協力、よろしくお願ひします。 池木啓仁会員

・一年間よろしくお願ひします。 中井謙之会員

・今年度、池木会長の下足番をして幹事業務に邁進してまいります。 丸野正徳会員

・3000回例会おめでとうございます。先週大きな記念品を頂き、ありがとうございました。 村島靖一郎会員

・新会長ガンバレ!! 中井隆男会員

・池木丸の出航を祝し。一希望と楽しみのある航海を一 林村喜芳会員

・池木会長、中井副会長、丸野幹事の就任を祝して。 下村さん、すばらしいコンサートでした。ありがとうございました。 辻 僚会員

・一年間よろしくお願ひします。下村先生、テノールコンサート、おめでとうございます。 村野淳二会員

・池木丸の出航をお祝いして。先日の下村君のライブでは、たくさんのロータリアンに来ていただきました。私も出演しました。 出川裕一会員

・祝3000回。お誕生祝を頂いて。 酒本将穂会員

・一年間よろしくお願ひします。 西田陽昭会員

吉田 晓会員 岡本吉行会員 吉村元嗣会員

吉村忠雄会員 寺田俊彦会員 中堀克己会員

森田康宏会員 東辻英郎会員 田中康正会員

山下精久会員 喜多輝昌会員 廣橋健次郎会員

藤井宏典会員 吉井英一郎会員 山本忠行会員

西田陽昭会員 清水良彦会員 松村裕玄会員

布施隆教会員 酒本良司会員 高木美香会員
堀内邦郎会員 中井俊之会員 當麻泰己会員
志賀正博会員 杉村喜之会員

・池木丸の出航を祝して。 竹村恵史会員 舟木克容会員 村井善治会員
植野昭三会員 横根正起会員 堀川巳清会員
河村憲一会員 松尾光至会員 高橋正典会員
平岡雄一郎会員

・池木会長、中井副会長、丸野幹事の就任を祝して。 吉村定義会員 黒松 健会員 足高善徳会員
山田幸雄会員 林田光治会員 涌田義昭会員
山田 博会員 佐藤佳雄会員 杉垣輝樹会員
安田志郎会員 吉川利幸会員 川村英亮会員
垣本喜己会員 澤本栄一会員 川中教正会員

・新会長はじめ新役員の皆様の就任を祝して。 甲村侑男会員 鈴木勝士会員 脇本吉清会員
世古千代子会員 下村敏博会員 池田定嗣会員

木下庄司会員 牧浦 徹会員 吉川雅章会員
木原常裕会員 上田麻子会員 吉岡弘修会員
村島靖基会員

・下村会員のテノールコンサート、おめでとうございます。 林村喜芳会員
足高善徳会員

・長期欠席のお詫び。

会長就任挨拶

池木啓仁会長
皆さんから大変たくさんのお祝いを頂戴しました。本当にありがとうございました。 本日、私はこの歴史と伝統ある大和高田RCの第65代会長を拝命させていただきました。本当に責任の重さを実感しております。次の世代への橋渡しになりますように、精一杯努力したいと思います。

まず、最初にお話をさせていただくことは、本年度RI会長ステファニー・A・アーチック氏のテーマ「ロータリーのマジック(The Magic of Rotary)」についてです。

クラブや地区が長年変わつてないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。つまり、私たちは現実の地域社会に合ったクラブへと変貌していくなければ、次第にロータリーに魅力を感じなくなつていくでしょう。

アーチック会長は、最も好まれる平和構築のための手段の一つとして、「4つのテスト」があり、これを単に暗唱するのではなくて、真に実行できれば世界は良くなつていくだろうというふうに述べられておられます。

実際に、会長が経験されたことの中から一例を申し上げますと、ドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝われた際、汚れた水が浄水器を通して透明できれいな水に変わっていく瞬間をさまざまと少年たちが見していました。少年の一人が会長の袖をつかんで、「もう一度、魔法を見て」と言つたのです。安全な水を手に入れることができれば、少年たちの人生が劇的に変わることをお知りになりました。

それは、私たちが寄付をするたびに、新入会員を迎えるたびに、事業やプロジェクトを終えるたびにマ